

2. 絵画館



約千五百点の作品を展示した城の絵画館は、町で最も重要な絵画館のひとつである。2005年4月にリニューアルされたこの絵画館は、ロンバルディア地方の後期ゴシック様式美術の壮麗な代表作品を鑑賞する行程に加え、1700年代のカナレットのベニスの風景画でもある。ヴィスコンティ家やスフォルツァ家の豪華な宮廷を偲ばせる優雅な作品の展示に続いて、イタリアのルネッサンス様式に充てた幅広い部門が始まる。ヴィンチェンツォ・フォッパやベルゴニョーネやプラマンティエーノの絵画などロンバルディア芸術文化の貴重な資料に感嘆されることだろう。それと共に並べられた作品は、ロンバルディア地方に招かれたレオナルド・ダ・ヴィンチの影響を受けたペルナルディーノ・ル

イーニ、チェザレ・ダ・セスト、アンドレア・ソラリオ、マルコ・ドオッジオーノ等の作品、そしてフィリッポ・リッピ、ジョヴァンニ・ベッリーニ、カルロ・クリヴェッリ、アントネッロ・ダ・メッシーナ、アンドレア・マンテーニャ、ブロンズイーノ、コッレツジョ、ロレンツォ・ロット、モレット・ダ・ブレシア、ティツィアーノ、ティントレット等。1500年代後期から1600年代にロンバルディア地方で活躍した芸術家カンピ兄弟、チェラノ、プロカッチーニ一族、モラッゾオーネ、ダニエレ・クレスピ、カルロ・フランチェスコ・ヌヴォローネ等。

一方、1700年代で注目される名前は、リグーリア派のマニヤスコ、ロンバルディア派のフラ・ガルガリオとピトケット、ヴェネツィア派のセバスティアーノ・リッチ、カナレット、ジャンバッティスタ・ティエポロ、フランチェスコ・グアルディ、ベルナルド・ベッロット等である。この行程には彫刻作品が新たに陳列作品に加えられた。15-17世紀のピザネッロやカラドツの円形浮き彫り、木彫浅浮き彫り、テラコッタや大理石の彫刻作品。そして、近年購入されたバンバーヤの彫刻作品「タッチョーリの聖母」は、際立つほどに美しい。

